

◆『発注者ナビ』とは

公共工事等の発注者が、品確法の理念に基づき発注事務に取り組むにあたり、参考としていただくことを目的として、各種取組事例を情報提供、共有するものです。

★コンテンツ

- 1) 「全国統一指標」、「関東ブロック独自指標」のフォローアップを実施
～令和4年度調査結果を公表～

公共工事の品質確保

働き方改革

- 2) 関東地方整備局における工事の「総合評価落札方式の適用ガイドライン」の一部改定

入札・契約、総合評価

★特集

- 1) 「建設現場における遠隔臨場取組事例集(関東地方整備局版)」を作成しました！

働き方改革

生産性向上

- 2) 建設技術展2023関東〔C-Xross2023〕 令和5年度 建設技術フォーラムの開催

生産性向上

1) 「全国統一指標」、「関東ブロック指標」のフォローアップを実施 ～令和4年度調査結果を公表～

公共工事の品質確保

働き方改革

○令和元年に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」(品確法)が改正され、将来にわたる公共工事の品質確保、その担い手の中長期的な確保・育成を図るために、都道府県や市区町村を含む全ての公共工事の発注者が適切に発注関係事務を運用し、品確法に定められた発注者としての責務を果たしていく必要があります。

○改正品確法の理念を実現するため、各発注者の取組状況の確認と取組の促進を目的として、令和2年に関東ブロック発注者協議会において新たな全国統一指標、関東ブロック独自指標を定め、各発注者ごとに令和6年度までに達成すべき目標値を設定しているところです。

○このたび、全国統一指標、関東ブロック独自指標の令和4年度における各発注者の取組状況についてフォローアップを行い、その調査結果を公表しました。

★詳細はこちら <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000162.html>

2) 「関東地方整備局における総合評価落札方式の適用ガイドライン」(工事)の一部改定

入札・契約、総合評価

○政府全体で取り組んでいるワーク・ライフ・バランス等推進企業を評価する取組について、対象工事の拡大に伴い、関東地方整備局の総合評価落札方式の運用を一部変更します。

★詳細はこちら <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000004.html>

特集1 令和5年9月に「建設現場における遠隔臨場取組事例集（関東地方整備局版）」を作成しました！

働き方改革

生産性向上

●【本事例集の内容及び主な特徴】

- ・令和4年4月以降に、建設現場における遠隔臨場に取り組み工夫を実施した事例を掲載。
- ・事例を以下の課題類型に分類し、同様の課題を抱えている受注者の課題解決のため、参照しやすいよう配慮。（計50事例）
 1. 通信環境の改善（13事例）、2. 効率的な計測（17事例）3. 安全管理（9事例）、4. 視認性の向上（6事例）、5. その他（5事例）
- ・工夫を実施した事例は、土木工事の他、機械工事、電気設備工事も掲載。
- ・遠隔臨場は、段階確認、材料確認、立会以外での活用を妨げるものではないことから、「その他」の事例として受発注者の業務効率化に繋がる先進的で画期的な活用事例も掲載。

通信環境の改善（衛星通信による通信環境改善）

〈実施内容〉

| 課題に対して工夫した点 | 遠隔臨場による確認項目 | 映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・Starlink（衛星Wifi）を用いて、通信の途切れを軽減させた。 ・音声がかさばらぬ、発信しても届きが悪いなどの観点についてBONX（Bluetooth型イヤホン）を使用し、鮮明に通話可能にした。 ・通話時の手ブレにより、画面酔いしてしまうのに対し、DJIハンドカメラパーを使用し手振れを軽減させた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・段階確認 ・既製杭打設施工開始時（試験杭） ・打設状況・使用材料確認 ・鋼矢板打設完了時（打設高） ・地盤改良施工開始時（試験施工） ・改良状況・使用材料確認 | <ul style="list-style-type: none"> 「記録」 ・SiteLiveスクリーンショット機能 「配信」 ・starlink（衛星Wifi） ・DJIハンドカメラパー ・BONXイヤホン |

土木工事

〈工事概要〉 R4荒川第一河川整備事業水行及び固結地新設工事

| 実施期間 | R4.12.01～R8.03.31 |
|------|--|
| 工事内容 | 築堤・護岸工 盛土工、法面整形工、固結工 植生工、コンクリートブロック連部 杭・杭群工事（土留め工事） ・（鋼製杭工・コンクリート工） 水・止水矢板工、護岸工 |
| 事務所 | 荒川調節池工事事務所 |
| 受注者 | 飛鳥建設（株） |

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・音声の送受信はとても良好だった
- ・衛星を使用して、映像のタイムラグが軽減された

〈今後改善を要する点〉

- ・立会毎に衛星Wifiをセットしなくてはならないので、設置しておける仕様にした一歩検討
- ・ハンドカメラは片手がふさがるので、両手をフリーにできると安全

●監督職員（発注者）

〈効果〉

- ・移動に時間をとられない為、他の仕事も効率的に進める事ができた。

〈今後改善を要する点〉

- ・当工事通信環境の工夫はしているものの、通信の途切れが発生したため、通信環境の改善が必要。
- ・測量器械を使った立会は監督職員が遠隔臨場することができない。

課題類型の記載及び課題類型ごとに工夫点を整理

・活用した機器
・遠隔臨場した確認事項を具体的に記載

・施工者（受注者）や監督職員（発注者）が活用して感じた「効果」や「今後改善を要する点」など、現場からの生の声を掲載。

・現場でどのように遠隔臨場を活用したか、状況の分かる写真を厳選して掲載。
・「遠隔臨場の初心者」でも分かりやすい事例集として

※「建設現場における遠隔臨場取組事例集（関東地方整備局版）」は関東地方整備局ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス
<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000212.html>

